

市民協働により、住み良い、発展がつつく都市づくり

平成23年第2回定例会市議会が6月1日(水)から開かれました。

開会にあたり、4月に行われた統一地方選挙で3期目の再選となった山口幸太郎市長が、千歳の未来を見据えた決意とともに、平成23年度の「市政執行方針」を示しました。

「市政執行方針」は、1年間に行う市の取組(施策)や市の進むべき方向(指針)となるものです。今月の特集は、今年度市がどのような事業に取り組むのか、それを実現するための予算とともにお知らせします。



まちづくりの目標と2つの基本姿勢

市

民の皆さんがそれぞれの知識や能力、経験などをまちづくりに生かしていく「市民協働」を市政運営の大きな柱とし、まちづくりの目標は「市民協働により、住み良い、発展がつつく都市づくり」としました。

豊かな自然と恵まれた都市環境など、千歳の特徴を生かし、まちに勢いと活力を与え、さらなる発展・成長につなげます。

基本姿勢1

「まちの」ちから「で賑わいあふれる都市づくり

地域資源を活用し、農業・観光の振興、商業機能の活性化、雇用の創出を進めます。また、積極的に企業誘致活動を行うなど、まちの成長・発展が持続する取組を進めます。

刻々と変化する経済情勢と多様化する市民の要望への確に対応で

きるよう、市役所改革の取組を進めます。また、「財政標準化計画」により健全な財政運営を進め、効果的で効率的な行政経営に取り組みます。

基本姿勢2

「ひとの」ちから「でいきいきと暮らせるまちづくり

つぎの世代を担う子どもが元気でいきいきと成長し、安心して子どもを生み育てられる環境を整備します。また、高齢の方を含むすべての市民がすこやかに暮らせるため医療体制と福祉サービスの充実に取り組めます。

限りある資源を循環させる仕組みづくりや環境にやさしいまちづくりに取り組みます。また、さまざまな災害から市民の生命や財産を守るため防災対策を充実し、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。